

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (南関東)	良く なっている	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・近隣の競合店が改装工事で閉店しているため、良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温がまだ上昇気味で、非常に暑さを感じる。特に、コンビニでは暑さが影響して、飲み物や付属する商品が多く出る。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・経費は上がっているものの、落ちてても上がってもいい。街では売れていないようなので、何とも言い難い。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・商品の仕入単価が上がったため売上は上がったが、実際の数量は前年より減っている。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・暑さのせいエアコンがよく動いている。ただし、安価な物が多い。夏本番になると安価な商品のウエイトが高くなるが、今年の夏は安価な物ばかりが動いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑でエアコンなどの夏物がよく売れた。ただし、それ以外の物はあまり売れていない。
		一般小売店〔文具〕（経営者）	単価の動き	・単価のやや高い筆記具を中心に客が購入している。また、1人当たりの購入点数が多くなってきている。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・高額品の売上が伸びており、毎年この時期に実施している高級時計の販売会では速報値ベースではあるが、近年で最高の売上が見込まれている。また、インバウンド関係でも化粧品を中心とした売上が好調で、前年比2.5倍以上の伸びがみられる。ただし、主力の衣料品の売上が前年を割り込んでおり、商材別では手放しで好調といえる状況にはない。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・化粧品を含む服飾雑貨等が好調であり、食料品はほぼ横ばいである。婦人アパレルの復調により、全般的に単価が上がり、前年比4ポイント増と好調である。一方、購買点数が若干前年に届いていない。免税売上額はこのところ増加の一途であり、売上増の要因となっている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・来客数が伸びているが前年にない動きとして、夏セールが後倒しだった対策として定価強化をしていたが、その流れをくんで定価商材を前年より前倒しで投入したところ、在庫がしっかりあったということもあるが、トレンドアイテムや今買わないとなくなるという理由で高額なムートンやダウン、レザーなどに動きが多くみられる。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・数量、客単価共に3か月前と比較して前年比で増加している。消費税増税に伴う駆け込み需要及び反動減の影響の少ない2013年と比較してもほぼ同様の数字となっている。
		スーパー（仕入担当）	単価の動き	・今月は前年に比べて気温が高く、アイス、飲料、麺類等の夏向け商材の動向が良い。青果物も品質は安定しないが、相場高で前年を大きく上回っている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・観光地に近く、中国人の来店が多い店舗だが、今月から減ったように感じる。
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・天候要因が大きく、行楽など外出する機会が増えていることが来客数の増加につながっており、回復傾向にある。
		家電量販店（統括）	それ以外	・天候の影響で夏物商戦が好調である。それ以外では目立った伸びはみられないが、中国を中心としたインバウンド需要のプラス分が他部門をカバーし、全体の実績を押し上げている。
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・7月からの猛暑が続いて8月の前半は季節家電の動きは好調だったが、お盆をはさんで気温が下がり、季節家電の動きが止まった感がある。心配な点がないわけではないが、人民元の切り下げによるインバウンド需要への影響はまだない。
乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・客の動きが幾分活発化してきている。		
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	販売量の動き	・夏季商戦の国内売上は久しぶりに前年を上回る結果となっている。		

	その他小売 〔ショッピング センター〕(統 括)	販売量の動き	・前年に比べて全般的に専門店の売上が好調である。業種としては映画、ファミリー衣料が好調である。元々前年はやや悪かったが、前々年の水準に戻ってきている感じがある。来客数も前年より増えている。
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・今年は猛暑の影響で7月からのうなぎの売上も良く、お盆も忙しかった。地方も忙しかったようだが、当店はお盆が明けてからも底堅い個人消費の客という感じで来客数が増えている。
	その他飲食〔居 酒屋〕(経営 者)	お客様の様子	・前年と同じ高単価商品を季節メニューで投入しているが、注文数が増えている。領収書を切らない人の会計金額も上がっている。
	都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・稼働率が依然高い水準を維持している。
	旅行代理店(経 営者)	来客数の動き	・夏休みの個人旅行が増大し、予算も上がっている。
	旅行代理店(営 業担当)	お客様の様子	・夏から秋に向けての申込状況が良い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月はお盆休みがあったものの、昼間の利用が非常に良く、短い距離の客もかなり多い。回数、売上共に伸びてきている。
	通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・新規にC A T Vサービスを導入する大型案件が決まり、販売量は前年よりも大きく増加している。
	通信会社(管理 担当)	販売量の動き	・余暇の過ごし方として付加価値をつけて消費する傾向が感じられる。テニスをはじめとする日本中が注目するスポーツコンテンツについては大変な好況で、良いものにはお金を払うように感じられる。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・8月の販売量は目標数字の約120%となり、良いと判断してもよいが、6～7月の販売量が大変悪く、8月へずれ込んだため、やや良くなっているという判断である。3か月前と比べても同様である。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新築売りアパートは順調に契約ができ、良い方向に向かっている。ただし、仕入業者の増加及び土地価格の高騰により、なかなか仕入ができない状態になってきている。
変わらない	商店街(代表 者)	販売量の動き	・良くなるかとみていると動きが止まってしまう。大企業も締め付けがある。
	商店街(代表 者)	お客様の様子	・商店街を通る客量は若干減っているようにも思うが、それほど変わらない。ただし、客の様子は非常に慎重になっている。プレミアム付商品券が発行されたことでやや良い面も出てきているのではないかと。8月はプレミアム付商品券の影響で、数字を落とさずに済んでいる。
	商店街(代表 者)	来客数の動き	・最近の暑さなどから客の動きが悪くなっている。特に、年配客の動きが悪いことが、我々の商売には大きな打撃になる。涼しくなって高齢者が動きやすくなってきたが、天候が悪いために思うようにいかない。
	一般小売店〔印 章〕(経営者)	来客数の動き	・猛暑や集中豪雨、または当店の商品に魅力がないのか購買意欲が低下しており、非常に悩んでいる。
	一般小売店〔祭 用品〕(経営 者)	来客数の動き	・夏のイベント、祭礼が多い。
	一般小売店〔米 穀〕(経営者)	お客様の様子	・買物の流れをみても、購買意欲が欠けているような気がする。
	一般小売店〔文 具〕(販売企画 担当)	販売量の動き	・店頭においての来客数及び商品の売上、また、外商における物件数等も、急激に伸びるということもなければ減るといったこともない状況が続いている。
	一般小売店 〔茶〕(営業担 当)	販売量の動き	・中旬まではギフト需要もあり良好だったが、下旬から客単価が下がり、前年並みの売上になっている。
	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・中間所得層の来客数、購買客数が前年比97%と落ち込んでいる。原料高、円安の影響で商品単価が上がってきているのも原因である。特に、衣料品の売上が大きく落ち込んでいる。
	百貨店(総務担 当)	販売量の動き	・ここところ幾分涼しくなったが、来店する客は目的以外の商品への購買意欲がなく、買上率は低下している。
	百貨店(総務担 当)	販売量の動き	・株価下落の影響で消費マインドが下降しつつあるように思える。消費者心理として、高額品等の不要不急の消費は控える傾向にある。
	百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・物価上昇に給与が追いついておらず、婦人服に回す金額が少なくなっている。

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・消費者のクリアランスに対する価値観の変化により、夏物ファッションのセール購買量が減っている。一方で、高額品の購買は依然として好調であり、この現象は続いている。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・外国人客による売上に支えられているところが大きく、今後の状況は不透明である。
百貨店（店長）	販売量の動き	・今月は中国の株価下落や天候不順などによりムードが低下したため、その影響を受けている。
百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・インバウンドや富裕層は依然として堅調だが、中間層の客の消費が戻ってきていない。
百貨店（副店長）	お客様の様子	・8月上旬の猛暑から20日以降急に涼しくなる等、天候に左右された部分はあるものの、ここ3か月の客の消費動向に大きな変化は感じられない。猛暑の影響が化粧品やUV関連商材の動きは良かったが、婦人服衣料は引き続き厳しい。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の様子をみていると、ポイント何倍の日や買得商品を打ち出している広告初日、店ごとの特典のある日を利用してうまく買い回りをしている状況が多くみられる。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・やや悪いと回答したが、競合店ができた影響があるため、その分少し悪くなっている。それがなければ、変わらないか、やや良いくらいである。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比98%であるものの、点数、単価は前年並みである。売上予算が未達ではあるが、3か月前と比べて数字的には大きく変わっていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数の微減は続いており、値上げ分の単価の上昇で売上は何とか支えられている状況である。全体的な物量は増えてきていないため、依然として消費には慎重な状況が続いている。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・前年に比べて4月の改装以来、約7～10%来客数が伸びているが、1人当たりの買上点数は3%ほど下回っている。また、単価は若干上向いているので、売上自体としては上がっているが、今年の暑さでもっと売上が伸びなければいけないところ、今一つ伸びていないので、客の買上動向が分からないような状況である。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・猛暑の影響で夏物商材の動きが活発である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・8月前半は猛暑で売上は1割以上伸びていたが、後半に入り肌寒くなると、前半の貯金を使い果たし、気温に左右される状態が続いている。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・天候の急変もあり、前半は飲料水、アイスクリームの売上が伸びていたが、後半は一転して温かい麺類やおでんの販売が増加している。総じて売上、来客数共に変化はない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年の夏は猛暑だったせいか、来客数は前年を何とか維持できたが、客単価が若干落ちている。この傾向は続いており、何とか客に来店してもらい、なおかつ買上点数が増えるように努力しているが、客が求めているのは単価が低いリーズナブルな商品である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候不順が続いており、客足が多かったり少なかったりと、不安定である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ショッピングモールに出店している店舗があるが、ここ数か月で数店のテナントが閉店したので、景気が良くなっているとは思えない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月前半は好天に恵まれ、飲料、アイスクリームなどの季節商材の販売が好調である。ただし、トレンドを大きく変えるまでには至っていない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の購買に対する大きな盛り上がりもなく、暑さでこのまま終わりそうである。どうすれば集客できるか悩んでいる。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・20日までの売上は前年比10%増だったが、下旬は雨と台風と秋風で減少している。8月の最終的な前年比はプラスマイナスゼロである。
衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・買い求める商品の価値以上に価格が買得になっていないと、なかなか商品に手が届かない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入ってきているが、販売があまり芳しくない。前年度の3割減となっている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来月、半期の決算を迎えるが、ユーザーの動きが悪く、期待が薄い。

乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・景気の良い客と悪い客の差がある。昔は業界全体が潤っていたが、今は客のニーズをつかみ、しっかりと営業している店は仕事が忙しく、従来ながらのやり方の店はなかなか潤っていない。全体的には景気は良い方向だが、先月とほとんど変わらない。
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・天候や季節によって売れ方に変動があり、今年は暑いので、夏バテ商材の動きが良い。
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・プレミアム付商品券が発行されたので、売上としては変わらないが、いくらか良いような感じがする。
高級レストラン (副支配人)	来客数の動き	・新装オープンの関係もあり、純粋な景気判断は難しいが、オープンしてから約半年が経過し、宴会予約の客数など、徐々に平常時に戻りつつある。
高級レストラン (仕入担当)	単価の動き	・販売量は前年より増えているものの、全体として単価を上げられるほどの勢いがまだない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・今まで少なかった昼間の予約が増えている。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・前年比でみて、3か月前の5月1～25日までの売上は103.0%、来客数99.1%であった。今月は、1～30日までの売上が108.0%、来客数102.5%という結果である。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・それほど期待はしていなかったが、プレミアム付商品券で食事に来る客が多いことに驚いている。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・夏休みということもあり、宿泊については変わらず高稼働が続いているが、宴会やレストランといったその他の部門は法人、個人の利用が共に低調で、特に、法人利用の接待はほとんどなく、全般的に景気が上向いている実感はない。この状態は消費税増税後から続いており、3か月前と比べても何も変わっていない。
旅行代理店(販売促進担当)	販売量の動き	・法人関係では国内は例年並みだが、海外がなかなか良くなってこないし、団体の旅行が発生しない。また、今月はバンコクの爆破事件で不安があるため、海外団体は影響を受けて厳しい。当社においても何件かキャンセルが出ており、9月以降についても見合わせるという話を聞いている。
タクシー運転手	お客様の様子	・最近の大手企業の景況感がよく分からなくなってきている。以前のように不景気は特に感じないが、好景気とも感じない。タクシーに関しては夜は駄目で昼間の営業が好調であるということに変わりはない。
タクシー(経営者)	単価の動き	・一時よりは良くなっているように感じるものの、単価は上がっているが、来客数が減少している。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・テレビの新規加入は予算を超えているが、インターネットと固定電話及び携帯電話のセット販売の獲得が予算を下回る状況が続いている。営業職の採用が厳しく、各店とも予算人員を下回っているのも主な要因となっている。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・契約数は計画以上になっているが、客単価は下がったままである。
通信会社(社員)	お客様の様子	・大きな変動は現時点ではない。今年に入ってから月次目標を毎月達成できている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の収入が増加していないため、支出を減らすことを意識した消費を行っているように感じる。契約するプランも低価格サービスで他社よりも安く抑えられる商品、またはお得感のあるセット割引付のサービスに人気がある。
通信会社(営業担当)	単価の動き	・契約量、売れ筋の価格帯が横ばいにある。
通信会社(局長)	販売量の動き	・ケーブルテレビ業界においてはやや販売量は上向いているものの、ARPU(通信事業における顧客1人当たりの平均売上高)については横ばいが続いている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規加入及びコース変更の動向からは変化は感じられない。相変わらず必要最低限でのコース選択が多く、趣味に割く費用は抑えようとの意識を感じる。
通信会社(経営企画担当)	お客様の様子	・客からの新規商談に変化がない。
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・今年の夏季来場者も例年どおり予定数を確保できている。

	その他サービス 〔保険代理店〕 (経営者)	来客数の動き	・ 全般的に変化がなく、新規客もそれほど変わらない。 夏場は1年を通して売上等の増加はない。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・ 現在の仕事量は、3か月前と比べても変わらない。
	設計事務所(職員)	それ以外	・ 相変わらずの平行線である。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・ 当社は住宅を主に扱う不動産デベロッパー業と総合建設業だが、昨年4月の消費税増税以降、全く販売量が伸びない。オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックの時よりもひどい状態が続いている。消費者は所得が増えていないところに増税の影響を直接受けているようである。一方、総合建設業では工事原価が高騰しているにもかかわらず公共工事の発注単価が非常に低く、工事量は沢山あるが、利益が出ない状態が続いている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ 受注状況全体では前年比10%近く良くなっている。前年の消費税増税前の駆け込み受注の反動減という最悪状態を考えると、まだ厳しい。特に、戸建住宅が厳しく、集合賃貸住宅は前年より大幅に伸びている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ 契約数は例年と変わらない。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ 戸建住宅部門は好調を維持しているが、土地の有効活用部門は前年比でマイナスが続いており、全体としてみれば変わらない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・ ここにきて中国の景気減速の影響か、株価が下がり、景気減速とまではいかないが、これまで伸びてきた勢いがなくなり、停滞感が出てきた。来街者、クレジットカードの取扱高も8月の前半までは良かっただけに、後半の失速は意外である。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・ 連日の高温による販売量、来客数の減少が下振れに影響している。また、近隣での中型スーパーの新規出店により、かつての大型ショッピングモールの平日の客足が激減し、小さな商圈でパイを奪い合う過当競争の様相が著しくなってきている。
	一般小売店〔家具〕(経営者)	販売量の動き	・ 3か月前から比べると来客数、販売量共に若干落ちている。消費税が8%になってから来客数が少なくなっていて景気が落ち込んでいるような気がする。
	一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・ 個人用のお茶の販売量は変わらないが、単価は少し良い物を購入しようとする客が増えてきている。一方、会社用のお茶の前年同月の売上は下降が続いている。
	百貨店(総務担当)	お客様の様子	・ 天候不順なども重なり、来客数が微減している。買い回りも厳しく、必要ない物は購入しない節約傾向が続いている。
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・ インバウンド以外のファッションの動きが鈍い状態が続いている。来客数が減ってはいるものの、単価が上昇傾向にあるため、結果として何とか維持できている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・ 客の買物の単価、来店回数が減ってきている。以前よりも高額品が売れていない。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ トータルでの金額が少なくなっている。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ 来客数の動きと販売動向、また、周りの状況から判断して、やや悪くなっている。
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・ 猛暑のため来客数が少なく、売上は前年に比べ8%減少している。また、近隣の婦人服店が2店舗閉店するなど、厳しい状況が続いている。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・ 前年の同時期に比べて来客数と販売量共に減少している。
	乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・ 販売台数の伸び率も低迷しているので、先行きが不安である。
	住関連専門店(統括)	販売量の動き	・ 来客数が伸び悩み、それに伴って販売量、販売額も伸び悩んでいる。
	その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	販売量の動き	・ 各企業が過剰在庫を恐れ、生産調整を行っているようである。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・ 売上は3か月前と比べ、10~15%程度落ちている。8月は飲食業界で一番暇な時期のため、仕方がない。	

一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客が減っており、来客数が伸びない。様々な情勢も考えられ、営業努力が足りない部分もあるが、景気だけのせいではないと思っている。	
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の会話を聞いていて、景気が良くなって給料が上がったという話は一切ない。	
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・今年は特別に暑いせいか、客の出足が鈍っている。また、インターネットで予約等をする事が多いようで、なかなか販売量に結び付かない。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・団体旅行の見積件数や問い合わせの電話本数が減っている。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年同期比95%で推移している。	
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・中国を発端とする世界株安による影響からか、単価が上がらない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は前半猛暑が続き、また、お盆の帰省、暑中休暇などでタクシー利用が少ない。後半は秋の気配が漂って雨の日が続き、株安関連での景気低迷からかタクシー利用が少なく、昔から言われているニッパチで景気が良くない。	
タクシー（団体役員）	来客数の動き	・現在のやや上向きの要因は猛暑によるものであり、今後も継続するとは思わない。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・営業案件の決済が遅くなっている。	
通信会社（総務担当）	単価の動き	・日常の食料品購入時の輸入品価格が微妙に上昇しており、買い控え等で景気にはマイナスとなっている。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・今月は夏休みということで来客数を期待したが、3か月前の5月はゴールデンウィークもあって繁忙期だったため、それには及んでいない。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・最近の夏の暑さはゴルフをするところではない。それにしてもお盆も含め、来場者数は少なく、景気は下降気味である。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・夏場の暑さとも相まって、個人の実質所得の目減り等で来客数が若干減少傾向にある。	
パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・朝は以前と変わらないが、夜の時間帯、特に7～8時の仕事を終えて来店するサラリーマンの数が若干減っているような感じを受ける。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券が発売された割に動きが鈍いような気がする。	
その他サービス[福祉輸送]（経営者）	来客数の動き	・長期の休暇があったとはいえ、休み前の反応から今一つ進まない。暑さもあって外出を控えているのかも लेकिन、大分前と比べて客の動きが悪い。	
設計事務所（経営者）	それ以外	・当社は行政業務への入札により、月々の売上が決まっている。耐震診断案件がある時は、仕事がやり切れないほどあったが、現在は入札単価が非常に低くなっている。多くの業者で価格を競うため、低価格で入札される傾向にある。そのため、仕事量を回ることができず、仕事の少なさを感じている。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・官民にかかわらず案件数が減少している。民間は消費税増税以降、低空飛行が続いている。官庁案件の受注は運頼みの要素が強く、非常に不安定である。	
設計事務所（所長）	お客様の様子	・新年度が始まって既に5か月になるが、民間の動きはほとんど止まっている。そのうえ、行政業務も発注物件が前年の3分の1くらいに少なくなっており、先行きが厳しい。下期の発注に期待したい。	
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・仕事があるようでないというのが実感である。改修や耐震補強が多く、新築物件が非常に少ない。	
その他住宅[住宅資材]（営業）	販売量の動き	・建築資材の需要低迷が続いている。また、材料関係全体で荷動きが活発ではなく、先行きが良くなると見込めない。	
悪くなっている	一般小売店[和菓子]（経営者）	来客数の動き	・連日の猛暑で来客数が激減してしまい、売上が減少している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・7月からの猛暑で外出を控えた客が多い。また、旅行や帰省する人は多く、道路も混んでいたが、衣料品にはお金をかけなくなっている。来客数は前年に比べ20%弱落ち込んでいる。
	衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・お盆前から急に涼しくなり、夏物の動きが止まってしまっている。街に人出もなく、売上が大変厳しくなっている。このまま商売を続けていくのが不安になる夏である。前年比も85%と2けた落ちている。

		その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	お客様の様子	・回答理由としては、1の来客数の動き～5の競争相手の様子まですべてが当てはまるが、特に4の客の様子とした。
		タクシー運転手設計事務所(所長)	来客数の動き お客様の様子	・深夜になると人が極端になくなる。 ・打ち合わせはかなり行っているが、客が一步踏み出せず、契約には至らない。世の中で足を引っ張っている何かがあるのではないかという感じがする。
企業動向関連 (南関東)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・好天に恵まれる日が多く、それに合わせて飲料を柱に販売が上がっている。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・例年8月は落ち込むが、そういうこともなく、例年よりも忙しい月である。会社設立印の発注が8本あった。また、個人経営者が株式会社化するための発注や、事業拡大による社名変更というような場合もある。これらの客は通常1本でよい印鑑を、1つの会社でそれぞれ3本種類を変えて注文しており、客が資金的に少し余裕ができたと感じている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が順調に進んでいる。逆に手が一杯で断っている状況である。4月決算だが、今期についてはほぼクリアしている。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・工作機械の輸送受注が多く、年内は稼働状況が良い。
		通信業(広報担当)	受注量や販売量の動き	・前月から目に見えて良くなってきている。
		不動産業(経営者)	それ以外	・しばらく空室だったところに入居が決まった。エレベーターがなく、利便性が良くないところである。近隣のテナントビルも空室が少なくなっている。
		不動産業(総務担当)	取引先の様子	・所有するオフィスビルが約6年ぶりに満室になり、賃貸料の値上げも期待できる状況になっている。
		広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年度にはなかった、かなり昔からの懸案案件を実現できたため、やや良いというレベルに到達している。
		その他サービス業〔警備〕(経営者)	取引先の様子	・受注は来ているが警備員の確保ができず、売上を伸ばすチャンスなのに思うように売上増に結び付かない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕(従業員)	取引先の様子	・一時的なのかどうか分からないが、取引先からの依頼が落ち着いたような気がする。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一進一退である。
		食料品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・帰省土産の客単価が下がっている。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・会社ごとに売上の増減があるものの、総体的には差引ゼロで変わらない。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	それ以外	・インターネットの普及により安価なものを客が直接購入しやすくなってきているため、受注自体も減少傾向になってきている。
		プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一部商品は動いているが、それ以外の一般商品は、動きがほとんど変わらず芳しくない。
		プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年同期に比べ、どの客も軒並み2～3割程度の減少が続き、赤字から脱却できずに苦しんでいる。どの業界も消費税増税の影響がぬぐい切れていないようである。
		金属製品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・新規の客先は納期が短く、価格も安く、忙しい割に利益が上がらない。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・仕事量がある程度確保されても単価が安いので、利益が出ない。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・中国経済の挫折が、世界経済に冷水を浴びせる様相を呈し、更にリーマンショック以来の株価下落で世界的な不況に突入するのではないかと心配している。株が下がればあらゆる面で経済に悪い影響を与え、売上にも大きく響く。
		その他製造業〔靴〕(経営者)	取引先の様子	・取引先の様子だが、ここへきてかなり活気付いているという印象である。小売店の動きも好調を維持しているようである。ただし、材料屋はその反対で、他では景気が悪いと話しているので、格差があるようである。

建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が思った価格で売れない。
建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・中小企業レベルでは、景気回復はまだである。
建設業（従業員）	取引先の様子	・客との交渉がうまくいっていない。
建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・昨今、平均株価が下がり始め、客は値下げを期待しているが、さほど建設資材に影響が出ておらず、全体コストが大きくは変わらない。
建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・入札案件が少なくなってきており、先日も入札が不調になった。発注者側の予算が足りず、やりたい気持ちはあるようだが、収支を考えると予算額を上げられないようで、今の建設資金の上昇に追い付いてきていない。
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏期休暇による稼働日数の減少や異常な暑さの影響により、取扱量が平均を下回って売上が落ち込んでいる。
輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・チャーター部門の低調さは変わらず、改善の兆しがみえない。
輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・住宅建材、鉄鋼関係のメーカー共に出荷量は前年より低迷している。
輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・季節的にも天候的にも荷量に変化はみられず、相変わらず低迷している。
金融業（統括）	取引先の様子	・特別にマインド的にも上がっているようにみえないし、受注もそれほど変わっていないようである。
金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の製造業の受注等の様子だが、ここ2～3か月と変わらず、先行きの見通しもそれほど増えるということも減るとということもないので、変わらない。不動産建売業は、やや在庫がはけてきたが、その後、受注の様子見で少し抑えているようなところがみえる。小売業はプレミアム付商品券が出ているが、さほど売上が上がっていないというところを考えると、景気が良くなっているとは思えない。
不動産業（経営者）	競争相手の様子	・駅から徒歩10分のRC造り8階建てマンション、5月末完成45戸は、先月から更に4戸決まったが、34戸がいまだ申込に至っていない。しかも今月から広告費が300%の募集になっている。また、当社の管理物件2K79,000円の物件も空室のままである。厳しい状況が続いている。
広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・クライアントからの相談は減ってはいないが、宣伝費、販売促進費の削減が相次いでいる。
税理士	それ以外	・夜に最寄駅まで商店街を通っている。飲食店を外から歩きながら見ているが、やはり人があまり入っていない。ただし、以前より少しは良くなっているかもしれない。
社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社はまだ見受けられる。
経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店等では猛暑の影響などもあり、比較的好調のようである。
税理士	取引先の様子	・ここ数日の株安は大変な不安材料である。明るい話題が探せないで良くなるとは思えないが、中国問題が長引くとも思わないので変わらないの方向と考えている。
経営コンサルタント	取引先の様子	・駅前のレストラン店主は、「客足は落ちていないし、売上も水準をほぼ維持している。ただし、採算が悪くなってきている。食材の仕入値が上がっているため、メニュー価格を上げたいが、ファーストフード店の値上げ結果をみていると、怖くて容易に踏みきれない。このような状態が続いている」と話している。
経営コンサルタント	取引先の様子	・機械加工、金属加工、組立等の中小企業では、前年、前々年と比べても売上の上昇はわずかで、大企業のような景気ではない。
その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・既存契約及び解約、減額、新規契約もほぼ落ち着いてきた感がある。人手不足は相変わらず続いているものの、大きな変化はない。
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	競争相手の様子	・取引先では出張費の削減など、小さなことでも切り詰めている様子で、大企業といえどもかなり絞っているようである。
その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・仕事はあるが単価が良くない。

	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は夏期休暇の時期でもあり、受注量は若干減少しているが、特に景気に影響されたものではない。
やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	それ以外	・カレンダー関連の業者が、来年の企業向けのカレンダーの受注が前年より更に減り困っていると話している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いがほとんどなくなってきている。世界中の景気が落ち込んできているのが一番の原因である。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・単月の売上は前月比マイナス5%で悪くなっている。また、メーカーの在庫がはけておらず、受注量が確保できていない。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・最近、荷動きが悪くなり、燃料が上がる一方で、仕事量は減る一方である。我々のような中小企業はこの先、どうなるのか本当に迷っているところである。
	金融業（支店長）	取引先の様子	・中国の景気減速への懸念から世界的な株安が起きている。国内景気はさほど悪くないが、世界的な株式相場へのリスクが顕在化している。
	金融業（役員）	取引先の様子	・これまで景気をけん引してきた輸出関連企業に元気がなくなっている。計画を下方修正されて困っているとの中小企業者の声をよく聞くようになってきている。
悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・例年8月はお盆時期の影響で受注量が少ないが、想定範囲を大きく下回っている。特に、折込チラシの回数が激減している。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は盆休みで稼働日が少ないため売上額は下がるが、過去3年と比較しても今年の8月の売上額は特に低い。事前に出していた得意先からの生産見通しよりも少なくなっている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・株式相場に象徴される軟弱な基盤にある経済の表れなのかと理解している。もう少し底固めが必要ではないか。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の経費削減策が強化されており、注文のスパンが長くなっているうえに、価格競争も激しい。売上は例年に比べ2割程度落ち込んでいる。
雇用関連 (南関東)	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き ・引き続き募集に対し、人手不足感がある。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き ・今まであまり聞かなかった正社員が欲しいという企業の声が多くなり、1～2名ではなく、3名以上欲しいという話が増えている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き ・求人案件が活発である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数が前年同月比2けたの増加率で、前月に引き続き増加している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き ・新規求職者数は、7月は前月比マイナス3.7%、6月は同7.9%、5月は同マイナス16.6%と増減を繰り返しているが、前年同月比では5月がマイナスとなっていたものの、6～7月はプラスで推移している。新規は増加しても有効求職者数でみると、前月比、前年同月比でみて3か月連続マイナスで推移しているところから、採用が決まりやすい状況となっているようなので、景気はやや良くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・7月の有効求人倍率は1.01倍で前月から0.04ポイント上昇した。また、新規求人数は3,201人で前月比21.2%の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・このところ求人数は前年同月比で2けた増となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	それ以外 ・賃金水準に変化がないため、景気の変化は感じられない。
人材派遣会社（支店長）		求職者数の動き ・求職者である新規登録者数が横ばいである。	
求人情報誌製作会社（広報担当）		採用者数の動き ・取引先企業や関連会社で、人を採用したいがなかなか採用できないという話を耳にする。	
職業安定所（職員）		求人数の動き ・新規求人数は前年同月比で増加を続けているが、景気の動向の影響を受けにくい医療、福祉関係の増加によるものであり、正社員の求人数をみると新規求人全体の増加とは異なり、増減を繰り返し、増加率もわずかな幅で動いていることから、企業の採用意欲等は景気の動向をみながらの足踏み状態である。	
職業安定所（職員）		求人数の動き ・求人数の増加が一時に比べてかなり緩やかになってきている。	

	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・求人数は数年前と比べると以前より高いレベルではあるが、求人条件などはそれほど良くなっているとは思えない。経済回復の力強さが感じられない。
	民間職業紹介機 関（職員）	採用者数の動き	・大手を中心に新卒採用の活動は終了段階である。時期のずれにより8月に大きく学生が動いたことで新卒確保がうまくいかない企業が出てきており、中途採用で補完していく動きが出ている。
やや悪く なっている	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・従来まである程度、期間工等の求人があった自動車産業等を含めて、求人数が全く増加しない。
	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・事務系の派遣求人数が若干ではあるが減っている。
	人材派遣会社 （支店長）	それ以外	・派遣成約率が前年と比較して悪化している。オーダーと人材のミスマッチが顕著になってきている。
	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・例年8月は悪いが、今月は倒産が5社、廃業1社、新規が大口を含めて35件である。従来のユーザーもそれほど落ち込んでないなかで、ゼロとなったところもある。今月の落ち込みは厳しい。
悪く なっている	-	-	-